

事業所名 ABC

公表:平成31年3月19日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				個別・集団活動ができるスペースに分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				基準に基づいた職員を配置し、個別に配慮できる指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				全室クッションフロア床のバリアフリー化がされている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△	○			支援内容を翌日朝打ち合わせでスタッフ間で振り返り共通認識し、改善点等話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				実施している。保護者からの意見をいただいた場合、職員間で共通認識する点を話し合い迅速に対応するように勤めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				今回から実施。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		実施していない。系列事業所の管理職会議を定期的の実施し、業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				札幌連・地区相談支援事業所主催の研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				保護者から聞き取ったニーズと、子どもの様子を全職員で観察した内容を元に、支援計画を作成し保護者の同意を得ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				事業所で使用する様式を作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	△			運動・製作・クッキング・外出のプログラムは、各担当職員が立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				当日のメンバーや子どもの成長に合わせてプログラムが固定化しない様配慮している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	△			平日は、個別活動後集団活動を実施。土曜日はイベント活動日としている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	△	○			計画書の中に「言語」「社会性」「学習」「生活」「家族支援」「地域連携」に項目分けを行い作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				前日利用児の特変事項等の振り返り、当日の支援内容の確認を実施し、職員間で共有している。

	⑩⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	○			特変時は集合して実施するが、支援職員が送迎も実施し退勤時間を迎えるので、電話連絡としている。翌日の朝実施している。
	⑬	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				連絡帳に支援状況を記載し、写しを事業所に保管している。特記事項は業務日誌ノートに記載している。
	⑭	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				半年に1回以上は、モニタリングを行い支援計画を更新作成している。
	⑮	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○	△			平日の個別・集団活動(曜日ごとのメニュー)週末の外出・調理支援を組み合わせている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				サービス担当者会議に参加する際には、事業所の管理者もしくは児童発達支援管理責任者が対応することとしている。
	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				保護者に確認後、連携すべきケースは対応している。
	⑱	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△				重度心身障がい児は受け入れていない為、該当しない。
	⑲	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	○			保護者に確認後、連携すべきケースは対応している。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	△		まだ事例が無い。事例が出てきた際には、保護者から依頼があれば、情報提供していく。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				地区自立支援協議会や発達支援センター主催の研修に参加している。
	⑲	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				週末の外出支援時や系列事業所との夏祭り等で、一般の方々に接する機会を設けている。
	⑲	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				地区自立支援協議会担当職員が参加し、運営委員会にも加入している。
	⑲	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				支援した内容を連絡帳に記載したり、送迎時に保護者からのお話しを受け、職員間で共通認識を行っている。
	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			△		療育についての困りごとについて、保護者と共通理解が深まるように、電話や送迎時に相談援助を行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				運営規程は、事業所に掲示し閲覧できるようにしている。重要事項説明書にて説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				事業所で行える助言と支援を実施し経過をお互い共通理解ができるように勤めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			施設行事の際、保護者も参加できる機会を1年に2回実施している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				契約時に交わす重要事項説明書に記載し、口頭にて保護者に周知している。事象が起きた際には、迅速に内容を把握するように努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△				翌月の支援内容と行事予定表を保護者に配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				契約時に個人情報同意書を交わしている。個人情報を使用する際には、保護者に確認することを徹底している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				よりの確に伝わりやすいように端的な言葉や説明メモを用いる等工夫している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				系列事業所と実施する夏祭りには、近郊の方々も招待の声をかけている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				系列事業所と共に対応マニュアルを作成し、事業所内に掲示し誰でも閲覧できるようにしている。避難訓練は年に2回実施している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				定期的に避難訓練を実施している非常持ち出し袋等事業所内に準備している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				定期的に事業所内で勉強会を実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		△	△		まだ事例がない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				契約時に保護者に聞き取った内容を職員間で共有して対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				系列事業所で発生した場合、迅速に共有し再発防止に努められるようにしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所名 ABC

保護者等数(児童数)

回収数

割合 33 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	1		1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1				
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1			2		
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	3					
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1				
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3					
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	2				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3				
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2				1	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1				
⑭ 個人情報に十分注意しているか	3						
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	1	1			
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			2		

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	1	2				
	⑱	事業所の支援に満足しているか	3					

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:平成31年3月19日

事業所名 ABC

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				9月の地震を経て事業所を移転し使用しやすい環境に改善した。
	② 職員の配置数は適切であるか	○				今後も基準を満たすスタッフ配置にしていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	△	○			今後も、利用児が理解しやすい環境を作っていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				より快適に過ごせる1軒店舗タイプの物件に転居した。室内は、バリアフリーのワンフロアになっている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			支援内容を翌朝の打ち合わせで振り返り、職員間で共通認識し、改善点など話し合っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△	○			実施している。保護者からのご意見をいただいた場合、職員間で共通認識する点を話し合い迅速に対応するように勤めている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	△	○			今回から実施。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			実施していない。系列事業所の管理職会議を定期的実施し、業務改善につなげている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				札幌運・地区相談支援事業所主催の研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				保護者から聞き取ったニーズと、子どもの様子を全職員で観察した内容を元に、支援計画を作成し保護者の同意を得ている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				事業所で使用する様式を作成している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				「言語」・「社会性」・「学習」・「生活」の発達支援と「家族支援」・「地域連携」の項目を標準とし、子どもの支援に必要な項目を絞り込み具体的な支援内容を設定している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	△			実施している。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				運動・製作・クッキング・外出のプログラムは、各担当職員が立案している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				子どものメンバーや、子どもの成長に合わせてプログラムが固定化しない様配慮している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○			子どもの成長に合わせた個別活動(学習プリント・指先を使う活動)の時間と集団活動(曜日ごと)を毎日組み合わせている。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝打ち合わせを毎日実施し、前日の支援状況の特記事項の引き継ぎ・当日の配慮事項の確認・役割分担を実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		特変時に集合して実施するが、支援職員が送迎も実施し退勤時間を迎えるので、電話連絡としている。翌日の朝実施している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		連絡帳に支援状況を記載し、写しを事業所に保管している。特記事項は、事業所で記録し保管している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上はモニタリングを実施し、支援計画を更新作成している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議に参加する際には、事業所の管理者も若しくは、児童発達支援管理責任者が対応することとしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保護者に確認後、連携すべきケースは対応し支援している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		重度心身障がい児は受け入れしていない為、該当しない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		重度心身障がい児は受け入れしていない為、該当しないが、事業所に協力医療機関と連絡体制は整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者からニーズがある際に、療育内容等の相談を関係事業所に行い、連携して支援できる体制を作っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者からニーズがある際に、療育内容等の相談を関係事業所に行い、連携して支援できる体制を作っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			保護者からニーズがある際に、専門機関と連携し支援している。地区スタッフ研修に定期的に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		外出支援時、地域の催事・公園・観覧施設へ出かけた際に、一般の方々と接する機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援内容を連絡帳に記載し、ご家族からも記入できるようにしている。送迎時に、ご自宅の様子をお聞きし、共通理解を推し量っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		療育についての困り事について、保護者と共通理解が深まるように、電話や送迎時に相談援助を行っている。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程は、事業所内に掲示し、閲覧できるようにしている。重要事項説明書と共に口頭で説明している。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		契約後 ニーズに基づく支援計画書を作成し、内容を保護者に説明した上で保護者に同意を得ている。	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの悩みをお聞きした際、事業所や関係機関で行える助言と支援を実施し、経過をお伺いし共通理解ができるように勤めている。	

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			施設行事の際、保護者も参加できる機会を1年に2回実施している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				連絡を受けた場合は、迅速に管理者へ報告し、管理者から迅速に保護者へ折り返し連絡している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△	○			毎月中旬に翌月の活動内容と行事予定を保護者や子どもに発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				契約時に個人情報同意書を保護者と交わしている。ブログ写真掲載の際、個人情報を守っている。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				よりの確に伝わりやすいように端的な言葉や説明メモを用いて説明する等、工夫している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				系列事業所の夏祭りには、近郊の方々にも招待している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	△			系列事業所と共に対応マニュアルを作成し、事業所内に掲示し誰でも閲覧できるようにしている。避難訓練は年に2回実施している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				定期的に避難訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				契約時に個人情報シートに記載していただいた内容について、保護者から状況を聞き取っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	△	△			保護者から聞き取った内容を元に対応している。現在、医師の指示がある程の重度者がいない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	△			系列事業所で発生した場合、迅速に共有し再発防止に努められるよう職員に引継ぎを実施している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	△			定期的に事業所内で勉強会を実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		△	△		まだ事例が無い

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成31年3月19日

事業所名		保護者等数(児童数)				回収数	割合	80	%	
ABC		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			1	・色々なベースがあつて良い。 ・新しく移転からみた事が無い	今後茶話会等を開頂く機会を作る		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	3		2	・何が正しいかわからない	契約時にもっと丁寧に伝えて行く		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3		2	・あまりじつくりみた事が無いので適切かわからない	契約時にもっと丁寧に伝えて行く		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1		1	・母子通所ではないのでなんとも言いえないが、あつていると思う。	見学を希望される保護者には積極的に対応したり、SNSを通じ今後も毎日の様子を発信してい		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	3	1		定期的計画して報告して欲しい。	6ヶ月に一度は必ず行っているが、ニーズに応じて3ヶ月で行って行く。		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	3		1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2		1				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		1	5	散歩したり、児童館などに行っているようなのでいろいろな人と交流し	今後近隣の児童福祉施設等と連携を取っていききたい。		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12							
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	8	1	1	2	定期的計画して報告して欲しい。	6ヶ月に一度は必ず行っているが、ニーズに応じて3ヶ月で行って行く。		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	4	3	1				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	9	3		1	個人面談をして欲しい。	送迎時に会えない保護者には今後行って行く。		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	2					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	3	5	たぶん無いと思う。			

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1		3	対応してくれていると思う。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8			4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12				していると思う。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9			3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		4	以前行われたと報告されている。	引き続き定期的に行っていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	1	1		いつも色々考えて療育してくれたり送迎もしてくれているのでありがたいです。	今後も一人ひとり考えて療育をしていく。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。